

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | シニアステージ観音寺新町 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 鳥取県米子市観音寺新町4丁目28番 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 第2種中高層住居専用地域 法12条 | 平均居住人員 | 69 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 病院 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2018年2月 予定 | 評価の実施日 | 2017年6月6日 |
| 敷地面積 | 1,418 m ² | 作成者 | 松本 康男 |
| 建築面積 | 654 m ² | 確認日 | 2017年6月7日 |
| 延床面積 | 2,368 m ² | 確認者 | 坂本 浩志 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 95%
③上記+②以外の 95%
④上記+ 95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境
Q2 サービス性能
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|---|---|--|
| 総合 オール電化建築物とし、オール電化厨房や、給湯設備にエコキュートを採用するなど、環境負荷低減に配慮した建物としている。 | | |
| Q1 室内環境 住居エリア、共用エリアをゾーニングするに当たり、建物利用の特性使用条件を考慮し、適切な計画とした。 | Q2 サービス性能 バリアフリー性に配慮し、入居者がスムーズに利用できるような配慮した。 | Q3 室外環境(敷地内) 適切な駐車台数を確保するように努めた。 |
| LR1 エネルギー 建物の外皮性能の向上の意識した計画とした。 | LR2 資源・マテリアル 下地材は全て 第3種(F☆☆☆)又は規制対象外(F☆☆☆☆)材料、仕上材は全て規制対象外(F☆☆☆☆)材料を使用する計画としている。 | LR3 敷地外環境 敷地境界線周辺にフェンス等設置し、防犯性とプライバシーに配慮した計画とした。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される